

令和〇年〇月〇日

保護者 様

〇〇立〇〇小学校

通知表（票）の見方について

1 通知表（票）の目的

通知表は、児童の学習状況や学校での生活の様子を保護者の方や本人に知らせ、現在の長所や気をつけてほしい点などを確認するものです。今後の学校生活や長期休業中の家庭学習などに活かしましょう。

2-1 各学期の学習状況は観点別に、各教科の欄にA・B・C等で表します。

通知表には身につけさせたい力を具体的に文章で表し、学期毎に各教科3～5観点で評価します。評価の考え方は「絶対評価」（目標に準拠した評価）です。

学習目標に到達していれば「A」「B」（「◎」「○」）になります。

5・6年生の「外国語」も同じように評価します。

A (◎)	各観点の内容を十分達成している。
B (○)	各観点の内容をおおむね達成している。
C (△)	もう少し努力を必要とする。

※評価の判断資料はテストだけでなく作品や提出物、学習状況等から総合的に判定します。

2-2 評定（1・2・3）は教科の総合評価です。（1・2年生はありません。）

通知表に記載された観点項目を総合的に評価します。

3	優れている。（教科の内容を十分達成している。）
2	良い。（教科の内容をおおむね達成している。）
1	努力を要する。

3 道徳

数値による評価ではなく、一人一人の良い点をほめたり、さらなる改善が望まれる点を指摘したり、道徳性に係る成長の様子などについて記述しています。

4 総合的な学習の時間（3年生以上）

各学年の発達の段階に応じたテーマを設定して取り組んでいます。数値による評価ではなく活動をとおして身につけてきた資質・能力、活動の様子などを記述しています。

5 外国語活動（3・4年）

数値での評価ではなく、話したり聞いたりする活動から、良いところや特徴的な様子を記述しています。

6 学校生活の様子（行動の状況）

各教科・特別活動など教育活動全般にわたって、児童の言動等をもとに評価します。観察記録や児童の自己評価等から趣旨に照らし十分満足できる状況であれば「○」がつきます。

7 特別活動

学級の係の仕事、クラブ活動、委員会活動などについて記述しています。

8 総合所見

児童一人一人の学習や生活状況の中から、良いところ伸ばすために、長所や成長したところなど、認めたことを記述しています。